

朝、いつも早番の時は鍵を開けてくれたおじちゃん。「おはよう」と言つて笑つて挨拶してくれたおじちゃん。今は早番で来ると鍵もかかったままで寂しいです。洗濯物をたたんでくれたり、保育園の壊れているところをすぐ直してくれていました。また、泣く子を膝の上のせて、いつも可愛がつてくれている姿を思い出します。病院では、お孫さんが来ていても嬉しそうに笑つて話していた姿を思い出します。寝たきりになつても、話も出来なくなり先生方が話しかけると目を開けたおじちゃん。熱があり、水枕をしていた時、手を握るとおじちゃんの体温が伝わってきました。そのおじちゃんが、今、ここにいないこと、とても信じられません。今でもどこからか、出てきてくれるのではないかと思えます。私も、子ども達に笑顔で保育していけるよう、心にとめていきたいです。

君山杏奈

毎朝、保育園に一番に来て、鍵を開けて下さったおじちゃん。早番で保育園に来る度におじちゃんの姿がないと、寂しく思います。去年の運動会では頑張りリレーで一先懸命走り、おじちゃんからバトンをもらった時のことを思い出すと、いっぱい嬉しいの体で、最後の力を出し走つて下さったこと、胸がいっぱいになります。毎日笑顔で過ごしていたおじちゃんを見習い、子ども達と毎日笑顔で過ごしていきたいと思えます。

長谷部裕美

おじちゃんはいつ朝早く保育園に来て、鍵を開けて下さいました。早番で「おはようございます！」と挨拶すると「今日も暑いね」と言つて一緒に洗濯物をたたんで下さいました。おじちゃんの楽しいお話を聞くのが好きでした。おじちゃんが入院してお見舞いに行つた時、ベッドの上で寝たきりのおじちゃんに声を掛けると、目を開け、手を握ると強い力でぎゅーつと握り返してくれました。そんなおじちゃんがないことが、本当に信じられません。いつも笑顔で優しく子ども達に大人気だったおじちゃん。私も笑顔をやさず、子ども達と一緒に成長して行けるよう頑張つていきたいと思えます。

武井沙織

ずっと前、私が鳩組を担任していた時、不安でいっぱいだったけれど、沢山助けて頂き、何とか1年過ごすことが出来ました。そして、何でも頼むとすぐによってくれる優しいおじちゃん。すべてを支えてくれていた、大きな存在だったこと、思う日々です。ありがとう。

細井君子

おじちゃんに早番でお世話になることが多かったのですが、泣きやまない子をぎゅーつと抱きしめて「泣きたいだけ泣けばいい」とあやしてくれた姿。傍をくつついて離れなかつた子が、大きくなり来なくなると、寂しそうに「もう卒業だな」とつぶやいていた姿。おどけて「ちよつとそこまで遊びにいつてきたよ」と言い、遠い京都や鳥取まで車で出掛けたことを、楽しそうに話すおじちゃん。そんなおじちゃんが、病気になる、体が動かなくなり言葉も出せなくなつて……お見舞いに行き、手を握るとこちらをじつと見てくれたおじちゃん。沢山、助けてもらうことが多かったです。パソコンも分からないうところがあると、二人で考えて、解決し、一緒に喜んだこと、今でも忘れません。おじちゃん、ありがとう。

久保田友恵

【三鷹職員より】

子どもの頃、バイクの後ろに乗せてもらつたり、お祭りでは色々な物を買ってもらつたり、とても優しい叔父でした。お小遣いをもらうのも、嬉しかったです。「人に善いことをし、何もあてにしないで貸しなさい」(ルカ 6:35)の聖句はおじちゃんそのもの。私もそうありたい。

市川ルミ

何をすることも黙つてやつて、けつしてやつてあげたとは言わない。本当の「縁の下」の力もち」だったと思う。自分もそうなりたい。目標です。 土持正男

6月に三浦からの帰り、(お掃除にきつと行つていたのでしよう)我が家にも沢山の茎わかめを持って来て下さり(冷凍出来ることも教わり)その茎わかめを先週まで美味しく頂きました。 永島智子

花の日訪問や卒園足、三浦研修ぐらいでしかお会い出来なく、もつとお話しをしたかった。いつも笑顔で後ろからみんなを見守つていてくれた。

高橋明日香